B-28 小児糖尿病サマーキャンプ研修プログラム

1 概要

小児1型糖尿病患児に対して、全国各地で療養指導講習会(以下、サマーキャンプ)が開催されている。食事やインスリンなど普段の療養に必要な知識を得るだけではなく、同じ病気を持った者同士のつながりを大事にし、生涯にわたって治療を行う基礎を築く場となっている。当院スタッフも多く参加する小児糖尿病大山サマーキャンプに参加することで、1型糖尿病及びその治療について理解するとともに小児慢性疾患に対する対応方法を学ぶことを目標とする。

指導責任者：糖尿病・内分泌・代謝内科 村尾　和良

2 目標

(1) 中央病院GIO

将来遭遇しうるいかなる状況においても思いやりを持ちながら良質な全人的医療を行うために、県の基幹病院での研修を通じ、将来の専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

(2) 一般目標（小児糖尿病サマーキャンプ研修GIO)

医師として日常診療で頻繁に遭遇する糖尿病患者に適切に対応し全人的医療を行うために、1型糖尿病治療に対する基本的診療能力（態度、技能、知識）を修得する。
また、小児慢性疾患患者に対する対応方法を習得することで、成人での診療にも活かす。

(3) 行動目標（小児糖尿病サマーキャンプ研修SBOs）

ア 1型糖尿病について理解し、説明できる

(ｱ) 1型糖尿病の病態を理解し、説明できる

1型糖尿病についてのレクチャーを受け、概要を説明できる(知識)

(ｲ) 1型糖尿病の食事療法について理解し、説明できる

成長期に必要な栄養について理解でき、概要を説明できる(知識)

糖尿病の食事療法についてのレクチャーを受け、概要を説明できる(知識)

カーボカウント法についてのレクチャーを受け、概要を説明できる(知識)

(ｳ) インスリン療法について理解し、説明できる

インスリン療法についてのレクチャーを受け、概要を説明できる(知識)

インスリンの正しい注射方法について理解し、説明・指導ができる(知識・技術)

インスリンポンプ療法についてのレクチャーを受け、概要を説明できる(知識)

(ｴ) 自己血糖測定について理解し、説明できる
　自己血糖測定の意義について理解できる(知識)
　自己血糖測定の正しい方法について理解し、説明・指導できる(知識・技能)
　自己血糖測定の結果から、問題点を指摘できる(知識・技能)
(ｵ) 低血糖の際の対応ができる
　低血糖症状について説明ができる(知識)
　低血糖になった際の対応について理解し、説明・指導できる(知識・技能)
　低血糖予防の方法を理解し、説明・指導できる(知識・技能)
イ 小児への適切な対応ができる
(ｱ) 年齢・発達段階にあった接し方ができる。
　子どもに不安を与えない接し方がわかり、言語的・非言語的コミュニケーションが持てる（技能）
　思春期の場合、子ども扱いせず羞恥心に配慮できる（態度・習慣）
(ｲ) 家族の心配・不安に共感できる。
　子どもの病気に対し、家族は不安を感じることを認識し、受容・共感の態度で傾聴することができる（態度・習慣）
(ｳ) 子ども・家族の心理・社会的側面に配慮できる。
　保育園や学校、親の仕事の状況などに配慮することができる（態度・習慣）
(ｴ) 子ども・家族にわかりやすい説明に配慮できる。
　どんな表現が相手にとってわかりやすいかを考えながら、説明ができる（態度・習慣）
(ｵ) スタッフと良好なコミュニケーションがとれる。
　スタッフからの情報に耳を傾けることができる（態度・習慣）

PG-EPOC で定める目標

1 サマーキャンプで修得するのが望ましいPG-EPOC 項目

Ⅰ 到達目標

A 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
A-1 社会的使命と公衆衛生への寄与
A-2 利他的な態度
A-3 人間性の尊重
A-4 自らを高める姿勢

B 資質・能力
B-1 医学・医療における倫理性
B-2 医学知識と問題対応能力

B-3 診療技能と患者ケア
B-4 コミュニケーション能力
B-5 チーム医療の実践
B-6 医療の質と安全管理
B-7 社会における医療の実践
B-8 科学的探究
B-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

Ⅱ 実務研修の方略
⑥小児科分野（4週以上）
　小児の心理・社会的側面に配慮

⑬2）全研修期間　研修が推奨される項目
⑫2 ｉ児童・思春期精神科領域

経験すべき症候（29症候）
27 成長・発達の障害

経験すべき疾病・病態（26疾病・病態）
22 糖尿病

その他（経験すべき診察法・検査・手技等）
①医療面接
　診断のための情報収集
　人間関係の樹立
　患者への情報伝達や健康行動の説明
　コミュニケーションのあり方
　患者への傾聴
　家族を含む心理社会的側面
　プライバシー配慮

⑥地域包括ケア・社会的視点
　糖尿病

3 方略（LS）

(1) 全日参加を原則とする
(2) 事前に1型糖尿病及びサマーキャンプについてのレクチャーを受ける
(3) 各チームの一員として、参加者の問題点の把握、治療および指導方法の検討及び実施に参加する。
(4) 毎日実施されるカンファランスで症例提示をし、ディスカッションに参加する。
(5) 大山登山や海水浴などのイベントに参加し、低血糖への対応についての実際を学ぶ
(6) ミニレクチャーは適宜実施される

週間予定例

	午前	午後	その他
日	開会式	オリエンテーション、イベント	カンファランス
月	内科検診、歯科検診	糖尿病教室 イベント	カンファランス
火	大山登山		カンファランス
水	糖尿病教室 栄養教室	運動会、バイキング	カンファランス
木	糖尿尿教室	海水浴、花火	カンファランス
金	糖尿病教室	キャンプファイヤー	カンファランス
土	糖尿病教室	楽しみ会	カンファランス
日	糖尿病教室	閉会式	

4 評価（EV）

(1) 形成的評価（フィードバック）

知識（想起、解釈、問題解決）については随時おこなう
態度・習慣、技能についても随時行う。
技能についてはチェックリスト、評定尺度の使用を推奨
態度・習慣については観察記録の使用を推奨

(2) 総括的評価

サマーキャンプ専用評価票により行う